

競技・進行について

◆ポイント

5 チームランク	M4,M11,L5	21+21+11延長なし
4 チームランク	M3,M6,L8,L9	
6 チームランク	上記以外全て	21点×3G延長25まで

◆審判

全て当事者で審判。
終盤、多面展開する際には当番員・本部役員が審判協力します。
勝者サイン、試合前後の握手を復活します。

◆シャトルは筒ごと交換方式。シャトル代高騰の折、丁寧に使ってください。

◆オーダー ①オーダー票は上下同様に書く。前試合の最終ダブルスが始まる前に提出。

上半分は本部で保管、下半分は対戦直前の挨拶の時に相手チームと交換。

②オープンペアがある時は、オーダー上の位置は第1Dをオープンとする。

オーダー票の「代理選手」に○をつけ、選手名に○はつけない。

さらに、余白に「オープン」と明記して下さい。

注 「小中高生は2名までオーダーに記名できる。」は撤廃されました。

◆人数不足の場合

①不足する人数分を当日受付で追加エントリーできる。

ただし、他のチームにエントリーされていない登録済み選手に限る。

②2人以上不足は受付できません。(チームとして参加不可)

途中から2人以上不足になった場合は、試合は続行できるが、遡って全試合完封負けとなる

③最初のチーム対戦時に人数不足の場合は、途中から揃っても終日オープンチームとする

④オープン試合について

1) オープン試合が存在するチームは、受付時または発生直後に本部に報告すること。

本部は対戦する(した)相手チームの代表者を招集し、周知します。

2) 代理選手は同性であること以外には条件なし。(相手チームの了承も不要)

3) スコアは普通につけながら、2ゲームだけ行う。ファイナルなし。

4) 審判定用紙最上段の記入は、0-21、0-21で、0-2の負けと記す。

5) 互いにオープン同士が対戦する時は、得失P,Gとも書かずに「両者オープン」と記す。

リーグ内順位の計算では、ともに0-21、0-21で、0-2の負けとして計算する。

6) 審判は当事者ができる範囲とし、不足の場合は審判員無しで実施する。

★留意事項

①オーダーに記名された選手が該当する試合の開始時にコートに入れない場合、

チーム対戦は0-3の負けとなり、試合はオープンとして実施される。

他のチーム対戦には影響しない。

②自己都合によりチーム不成立となった場合は、遡って全試合完封負けとする

◆チーム対戦の勝敗の決定

1. 勝ちダブルス・シングルス数

2. 両方にオープンがあって1-1の場合は、得失ゲーム数差 ⇒ 得失点数差

◆リーグ内順位の決定

1. チーム対戦の勝ち数 2. 勝ちダブルス数 3. 得失ゲーム数差

4. 得失点数差 5. 当事者対戦の勝者 6. 本部協議により決定

◆表彰

シャトル代の高騰のため、賞品のNewシャトル1本は廃止しますが、
大会使用済みから厳選された良好シャトル1本を進呈します。
賞状については希望チームのみ発行します。